# 地域脱炭素フォーラム2025 in 広島

# ひろぎんHDにおける脱炭素社会の実現 に向けた取組みについて

2025年10月22日

サステナビリティ統括グループ

# 1. プロフィール

《企業概要》

💅 ひろぎんホールディングス

本店所在地

広島県広島市

資本金

600億円

連結従業員

3,689名<sup>\*</sup>

設立日

2020年10月

広島銀行

預金額

7兆9,842億円<sup>\*</sup>

貸出金額

9兆3,059億円<sup>\*</sup>

※2025年3月末時点

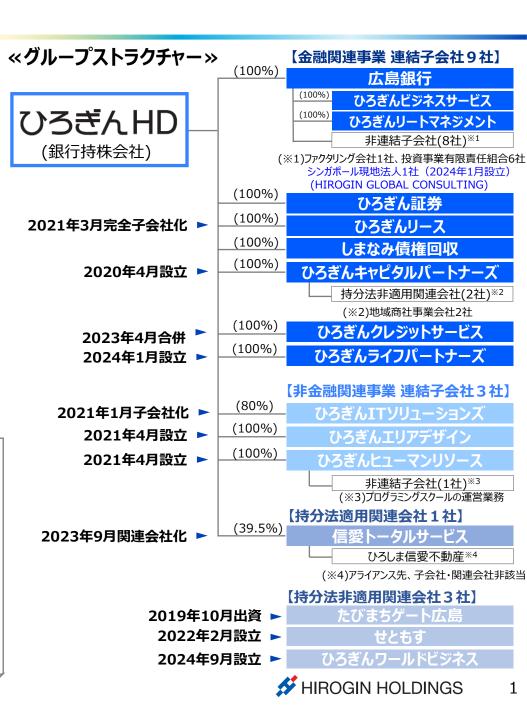


# Purpose 当社グループの「存在意義」

幅広いサービスを通じて、地域社会と共に、「未来を、ひろげる。」

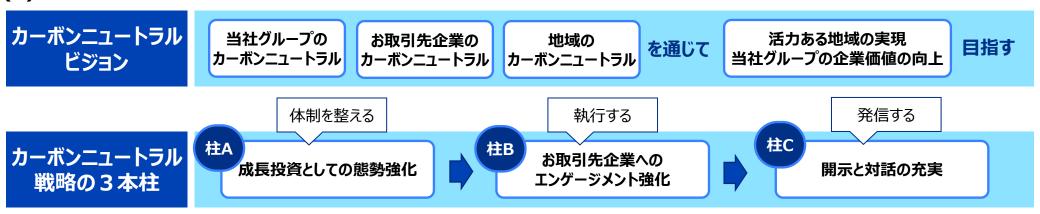
# 経営ビジョン 当社グループの「目指す姿」

お客さまに寄り添い、信頼されるく地域総合サービスグループ> として、地域社会の豊かな未来の創造に貢献します

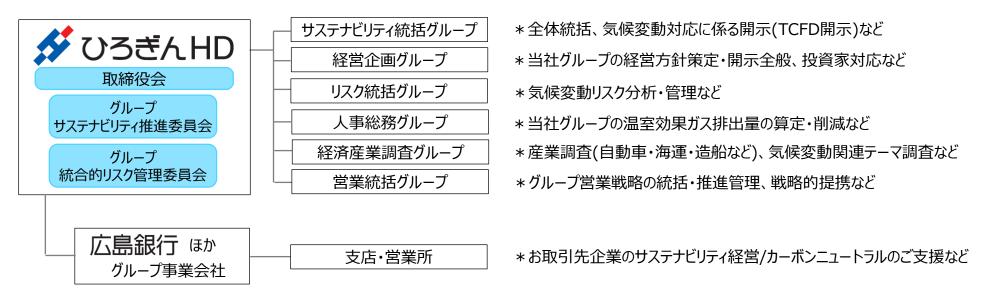


# 2. ひろぎんHDにおける脱炭素社会の実現に向けた取組みについて(全体像)

### (1)カーボンニュートラル戦略の全体像



### (2)カーボンニュートラル戦略の推進体制

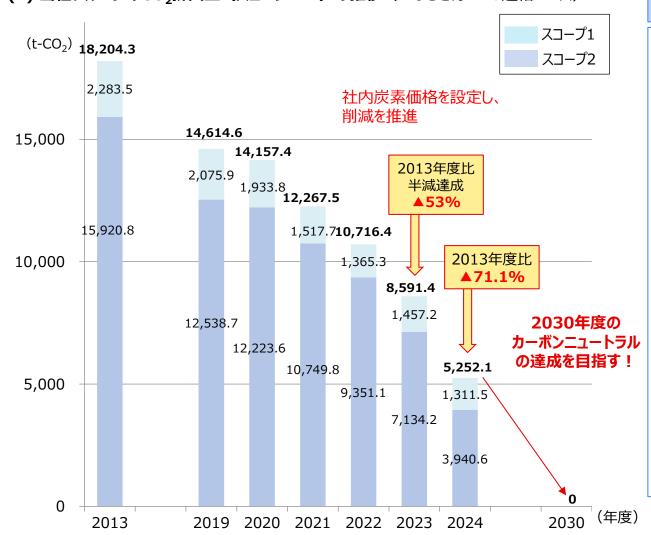


# 3. 当社グループのカーボンニュートラル

### 中長期目標

# 2030年度までに当社グループによる温室効果ガス排出量(スコープ1・2)のカーボンニュートラルを目指す

#### (1) 当社グループのCO<sub>3</sub>排出量 (スコープ1·2) の推移 (\*ひろぎんHDの連結ベース)



#### 主な取組事項

#### (1) 省エネの更なる推進 (スコープ1・2の削減)

- ●環境性能の高い本社ビルおよび主なグループ会社の本社機能 等の移転・入居によるエネルギー効率の向上(2021/5)
- ●店舗等のZEB対応を16拠点で実施 【ZEB\*(100%)】3拠点 【ニアリーZEB(75%以上)】4拠点 【ZEBレディ(50%以上)】9拠点



- \*ZEB: Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)
- ●支店等における省エネ設備(LED照明、高効率空調、耐熱性の高い窓ガラス)への計画的な更新

#### (2) 動力源の電動化 (スコープ1からスコープ2への転換)

- ●HVやEV等の低排出ガス車両の段階的な導入
- ●データセンタービルの空調設備更新(重油から電力への動力源の転換を含む)(2025/3)

#### (3) 再エネ電力等の活用 (スコープ2の削減)

- ●本社ビルへの再エネ電力の導入(2022/11)
- ●本社ビルへ追加性のある再エネ電力導入に係るオフサイトPPA の締結(2023/12)
- ●データセンタービルおよび事務センタービルへの中国電力の再工 ネ電力の導入(2024/2)
- ●非化石証書の購入(2025/2)
- ●将来的な活用を企図したカーボンクレジットの購入(2025/2、2025/5)

# 4. お取引先企業のカーボンニュートラル(1/4)

### 中長期目標

# 2050年度までに投融資ポートフォリオを含めたサプライチェーン全体の温室効果ガス排出量(スコープ1・2・3)のカーボンニュートラルを目指す

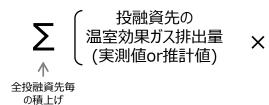
(1) 広島銀行の投融資ポートフォリオによる温室効果ガス排出量(スコープ3のカテゴリ15/事業性融資)(2024年度) <sub>単位:百万t-CO。</sub>

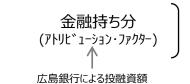
<u>`</u>	,								+四.	$\Box$ /)(-CO <sub>2</sub>										
		エネルギー		運輸				素材·建築物				農業、食料、林産物								
		電力	石油・ ガス	航空 貨物 輸送	航空 旅客 輸送	海運	鉄道 輸送	トラッ クサー ビス	自動 車・ 部品	金属• 鉱業	化学品	建材	資本 財(建 物等)	不動 産管 理、 開発	飲料	農業	包装 食品· 肉	紙、 林産 物	その他	合計
FEの合計 (前期比)		2.51 (0.08)	1.73 (▲0.02)			4.84 (▲0.09)	0.08 (0.02)			1.01 (0.18)			6.37 (▲1.90)			0.12 (▲0.01)			3.96 (0.17)	
	Scope1·2	1.63	0.98	0.00	0.25	2.22	0.05	0.28	0.08	0.61	0.30	0.00	0.44	0.01	0.00	0.08	1.80	0.16	0.65	9.56
	Scope3	0.88	0.74	0.00	0.08	2.61	0.03	0.16	1.86	0.40	0.48	0.04	5.93	0.25	0.05	0.04	0.68	0.24	3.31	17.78
アイ	5「地元エリ 先」かつ「メ ン・準メイン 」の合計	0.27	0.95	0.00	0.04	2.27	0.04	0.29	0.31	0.35	0.34	0.03	1.89	0.04	0.01	0.09	1.61	0.16	2.81	11.49
	Scope1·2	0.24	0.68	0.00	0.03	1.04	0.03	0.19	0.03	0.21	0.13	0.00	0.27	0.00	0.00	0.07	1.19	0.04	0.46	4.60
	Scope3	0.03	0.27	0.00	0.01	1.24	0.01	0.10	0.28	0.13	0.21	0.03	1.62	0.04	0.01	0.03	0.43	0.12	2.35	6.88

<sup>※</sup> 算定方法:PCAF算定基準に基づく算定を実施し、企業開示データ、CDPデータ等を活用。データが得られない場合は、PCAFデータベースから引用した排出係数等を用いて推計。なお、PCAFデータベースには Scope3下流の排出係数が含まれていない。

#### 「参考」算定方法の概要

ポートフォリオからの 温室効果ガス排出量 (ファイナンスド・エミッション)





投融資先企業の株式・借入金の総額

<sup>※</sup> データクオリティスコア:Scope1 3.42、Scope2 3.43、Scope3 3.45

<sup>※</sup> PCAF:金融向け炭素会計パートナーシップ。金融機関の温室効果ガス算定・開示を目的とした国際的枠組みであり、投融資に係る温室効果ガス排出量の算定・開示に際しては、PCAFの枠組みに原則従うこととされている。

# 4. お取引先企業のカーボンニュートラル(2/4)

(2) お取引先企業のサステナビリティ経営/カーボンニュートラルに向けた促進・支援

必要性理解

Step1 現状把握

方針策定 Step2

Step3 実践

# 対話ツール

 $(2022/3\sim)$ 

● 情報提供と 対話により、 対応必要性 の理解と取組 着手を後押し

#### ディスカッションツール

#### カーボンニュートラル 対応に係る提案

なぜ中小企業もカーボンニュートラル?

#### 3部構成

- 1. なぜ中小企業もカーボ ンニュートラル? Why
- 2. 中小企業は何を すればいい? What
- 3. 広島銀行からの

## ポジティブ・インパクト・ファイナンス (2023/3~)

企業活動が環境・社会・経済に与える影響を包括的に分析・評価し、ポジティブ影響の増大と ネガティブ影響の低減に向けた取組みを支援

# SDGs取組支援サービス

 $(2020/1\sim)$ 

- SDGsの取組状況を確認し、 必要対応事項を整理のうえ、 「フィードバックシート」を提供
- 「SDGs宣言」策定をサポート し、対外PRを支援

#### フィードバックシート



#### SDGs宣言



### サステナビリティ経営導入 サポートサービス

 $(2022/1\sim)$ 

- 経営者との複数回の対話 によって、企業のサステナビリ ティ経営の主軸となるマテリ アリティの特定を支援
- 「サステナビリティ経営方針」 の策定を支援

#### サステナビリティ経営方針



#### サステナブルローン

(2021/12~\*2025/4改正)

国際原則等に適合した商品

#### サステナビリティ・リンク・ローン

ESGに関する野心的な目標を設定し、 達成により金利を引下げ

#### グリーンローン

国際原則等に掲げるグリーンプロジェクト にかかる設備資金を対象

#### **SXローン**(2025/4~)

● 広島銀行独自商品で支援

#### SXネクストローン

サステナビリティ向 上に資する日標を 柔軟に設定し、達成により金利を引下げ

#### SXステップローン

11の目標候補から2つ選択し、 達成により金利を引下げ

#### カーボンニュートラル対応支援コンサルティング(2021/12~)

● カーボンニュートラル対応強化に向けた現状把握から実践までを一貫してご支援

グループ機能とアライアンスを 活用し、非金融分野を含め たソリューションを提供

自社の温室効果ガス排出量の 把握支援

自社の温室効果ガス排出量の 削減に向けた対策提案

サプライチェーン全体の温室効果ガス排出量測定から削減に向けた 計画策定~実行支援

#### 金融・非金融両面で削減支援

資金調達(SXネクストローン等)

リースによる脱炭素設備等の導入

省エネ実現に向けたDX導入



# 4. お取引先企業のカーボンニュートラル(3/4)

## 中長期目標

(1)2021年度から2030年度(10年間)までに、サステナブルファイナンスの累計2兆円の実行

- (2)上記(1)のうち、環境ファイナンスの累計1兆円の実行
- (3)上記(2)環境ファイナンスのうち、広島県内の環境ファイナンス累計4,300億円の実行※

※2021年度から2028年度までの8年間

### (3) サステナブルファイナンスおよび環境ファイナンスの実績推移

単位: 億円

		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	4年間累計	累計進捗率
(1)サステナブルファイナンス		1,220	2,119	2,200	2,341	7,880	<b>39.4%</b> (4年/10年)
(2)うち環境ファイナンス		850	1,503	1,587	1,650	5,590	<b>55.9%</b> (4年/10年)
	(3)うち広島県内の環境ファイナンス	268	510	522	561	1,861	43.3% (4年/8年)



#### ひろぎんHDの「中期計画2024」 (計画期間:2024~2028年度)

н

日指す姿	<b>活力ある地域</b> (サステナビリティ先進地域)						
地	広島県の 人口社会増減	減少幅縮小					
地域活性心	広島県の 観光消費額	継続的な増加					
化指標	広島県の 温室効果ガス 排出量	継続的な削減					

# 4. お取引先企業のカーボンニュートラル(4/4)

#### (4)企業価値を向上するためのカーボンニュートラル戦略

#### 当社グループの強み

#### ・事業性評価の先駆け的存在 (企業の定性面に着目する歴史とノウハウ)

非金融ソリューションの充実 将来的なファイナンス案件に繋がり得る サステナビリティ関連ニーズへの高い対応力



(自動車・船舶業種の専担ラインの存在)

#### 当社グループの機会

- ・サステナブルファイナンス
- サステナビリティ経営コンサルティング 700先超の「SDGs取組支援サービス」 支援実施先を中心とした、より本格的な サステナビリティ関連支援ニーズの取込み
- お取引先企業へのエンゲージメント 地域中核企業や自動車・船舶業種を 中心としたCO<sub>2</sub>見える化・削減支援

#### 当社グループの企業価値向上に向けたロジック

#### ・リスクの低減→資本コストの低減

投融資ポートフォリオの気候変動リスク 低減、当社グループの存立基盤である 地域経済/地域産業のレジリエンス(強 靭性)の向上





将来にわたる数兆円規模のトランジショ ンファイナンスニーズの取込みに向けた競 争優位性の確立



**PER** (株価収益率) の向上



PBR1倍 実現の ドライバー



### 【参考1】 環境省 第6回ESGファイナンス・アワード・ジャパンにて、広島銀行が「特別賞(選定委員長賞)」受賞(2025年2月)

#### ■選定理由

地域産業の事業性をしっかりと評価しており、非金融の知見を銀行自ら保有しようとする姿勢が顕著である。船舶や自動車といった トランジションが不可欠な産業に対し、実態にかなり踏み込んだ対応をしている。カーボンニュートラル課題から発してサーキュラーエコ ノミーの事業化・バリューチェーン形成に結び付けていく取組には先進性があり、経営がコミットしていることからも今後の発展が期待さ れ、特別賞となった。



#### 【参考2】 環境省 「令和5年度地域におけるESG金融促進事業 |に、広島銀行が採択・参画(2023年度)

- ■広島銀行で、牡蠣筏を活用した自動車部品製造における鋳造用バイオマス燃料のサプライチェーン構築に向けた検討を実施
- ■自動車の製造工程において、鋳造は、CO。排出量の約2割を占めている環境負荷の高い工程であり、特に、鉄を溶かす熔解 工程では燃料である石炭コークスの燃焼により多くのCOっが排出
- ■地場鋳造サプライヤーは、カーボンニュートラル達成に向けて石炭コークスの代替となるバイオマス燃料開発を進めている中で、 広島銀行は、バイオマス燃料開発の取組みに対して、燃料の素材探索と安定供給に向けたサプライチェーン構築を支援
- ■具体的な取組みとして、広島県の特産品である牡蠣の養殖に使用される「牡蠣筏」に着目し、牡蠣筏の廃材を再利用した 燃料製造のサプライチェーン構築を検討・支援



宮島近隣の牡蠣筏

# 5. 地域のカーボンニュートラル(1/2)

### (1)地域中核企業・自治体等との連携

- ▶お取引先企業への実効的なエンゲージメントの 実践に向けては、多くの地域中小企業において カーボンニュートラルに取組むインセンティブ(外部 からの要請・内発的な動機)が働いていないという 現状を踏まえ、個社別のエンゲージメント(点)と 業種別のエンゲージメント(線)に加えて、地域中 核企業・自治体等と連携した地域レベルでのエン ゲージメント(面)が必要であると認識
- ▶地域のカーボンニュートラル機運醸成に向けて、 地域中核企業・自治体等との連携や一体となっ た取組みを推進

締結時期	締結先	締結協定の名称
2021年12月	中国電力㈱	地域企業のカーボンニュートラルに向けた連携協定
2023年3月	広島ガス㈱	広島県内企業のカーボンニュートラル対応支援に向けた 業務提携契約
2024年2月	呉市、双日㈱、 NECネッツエスアイ㈱	脱炭素社会実現に向けた包括連携協定
2025年3月	(株)ちゅうぎんFG	山陽地域のサステナビリティ推進に向けたパートナーシップ協定

### (2)東広島市による環境省「脱炭素先行地域」への参画

事業名	次世代のための学園都市型カーボンニュートラル 〜住みたい、働きたい、学びたいまち、東広島〜 « 2024年9月、脱炭素先行地域(第5回)に選定 >
提案者	東広島市 (共同提案者) 広島県、国立大学法人広島大学、東広島スマート エネルギー㈱、㈱広島銀行、広島ガス㈱

# 取組みの 概要 (一部抜粋)

- ・大学移転から30年程度経過した学生街の既存の 集合住宅及び戸建住宅の脱炭素化に取組む
- ・集合住宅には太陽光・蓄電池を活用したエネルギーマネジメントを行い、コストメリットを出すことで高圧・低圧を問わず面的に一括受電システムを導入するとともに、戸建住宅に対してはリース事業を首都圏の太陽光サービス事業者と連携して行うことで知見・ノウハウを蓄積し、地元事業者育成を行う。



既存の集合住宅

# (3)広島県による環境省「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」への参画

実施エリア	代表申請者	概 要
広島県	広島県	製造業中心の当該エリアでは、脱炭素に関する対応の遅れが競争力低下や若年層流出の要因になり得るが、県内の支援制度に関する認知不足などの課題がある状況。そこで、行政・金融機関・業界団体等が連携し、情報共有〜伴走支援、また資金支援を一体化したコンソーシアムを構築し、地域企業の脱炭素経営の促進を目指す。

# 5. 地域のカーボンニュートラル(2/2)

### (4)地域で組成されたカーボン・クレジットの購入

# Jブルークレジット購入 (尾道市、2023年8月)

- ▶広島銀行で、尾道市のブルーカーボン・オフセット 推進事業「尾道の海のゆりかご(干潟・藻場)再生 による里海づくり」において創出されたJブルークレジット(13.4t-CO₂分)を購入
- ▶干潟・藻場などのブルーカーボン生態系は、生物 多様性に富み、アサリなどの生育場として水産資 源を供給するほか、新たなCO2の吸収減としても 注目
- ▶クレジット購入企業の紹介・斡旋への協力や近隣 小学校等への環境教育の企画・実施を行うなど、 多面的な形で本取組みに関与、地域の生物多 様性・自然資本の保全にも資する取組みとして 購入





# 農業由来J-クレジット購入 (安芸高田市、2025年2月)

- ▶広島銀行で、農業経営体の収益向上と地域の 農業の持続可能性を支えることを目的としたJ-クレ ジット創出プロジェクトに取組む株式会社RevO (レボ、本社:安芸高田市)より、水稲栽培で創出 した農業由来J-クレジット(100t-CO₂分)を購入
- ▶水稲栽培の「中干し」期間の延長によるメタンガス 排出の抑制・削減を通じたJ-クレジットは、広島県 内初であり、広島銀行は、第1号の購入企業に
- ▶中山間地域をはじめとする郷土の豊かな自然環境の保全を図るとともに、農業経営体の収益向上と地域の農業の持続可能性を支え、将来の世代により良く引き継いでいくための取組みとして購入



# 森林由来J-クレジット購入 (呉市、2025年5月)

- ▶広島銀行で、中国木材株式会社(本社:呉市) より、間伐などの森林の適切な管理を行うことに よって追加的に創出されるCO₂吸収量として認証 された森林由来J-クレジット(800t-CO₂分)を購入
- ▶株式会社中国木材が初めて創出・販売する森林 J-クレジットであり、広島銀行は、第1号の購入企業に
- ▶地球温暖化抑制と持続可能な森林活用に向けた 企業間連携の強化とともに、地域林業の活性化、 森林環境の保全に資する取組み、および中山間 地域をはじめとする郷土の豊かな自然環境の保全 を図り、将来の世代により良く引き継いでいくための 取組みとして購入

